

第 1 回「弥富市地域公共交通活性化協議会」 議事録

平成 24 年 6 月 28 日（火）

時間 午後 2 時から

場所 弥富市 図書館視聴覚室

○議 事

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・私は、弥富市地域公共交通活性化協議会の進行役を務めさせていただいている、公益財団法人豊田都市交通研究所の山崎である。 ・今年度初めての会である。弥富のきんちゃんバスは3年目に入り、改変後のデータも出てきており、さらに良いものをつくり上げていくということで、皆様のご協力をいただきたい。 ・ただ今から、平成24年度 第1回弥富市地域公共交通活性化協議会を開催する。
服部市長	<ul style="list-style-type: none"> ・大変お忙しい中、平成24年度弥富市地域公共交通活性化協議会にお集まりいただき、感謝する。 ・4月1日に、バス運行のルート、バス停、時刻表等について一部改正を行った。日祭日については運休として、3ヶ月が経過する。利用者の皆様にはご不便をかけることになった。 ・後ほど事務局から報告があるが、4、5月の乗車実績は、わずかだが増加しているという状況である。 ・本日は、事業報告、決算、生活交通ネットワーク計画という議題に対して、皆様方からご深慮いただきたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・お手元の資料の確認を事務局よりお願いする。
事務局 (横江)	<ul style="list-style-type: none"> ○資料の確認 会議次第 資料1：弥富市地域公共交通活性化協議会委員名簿 資料2：平成23年度弥富市地域公共交通活性化協議会決算書 資料3：平成24年度弥富市地域公共交通活性化協議会事業計画（案） 資料4：H24・25生活交通ネットワーク計画案 資料5：利用実態調査について 資料6：住民・企業アンケート調査について 資料7：無料お試し乗車券について 配席表 公共交通活性化方策調査業務報告書 エコモビリティライフ・推進表彰案内のチラシ
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度で委員の交代があるので、事務局から紹介をお願いする。
事務局 (横江)	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1をご覧いただきたい。 ・今年度、新たに3名の方にご就任いただいた。紹介させていただく。 ○資料1 説明 ・新委員の紹介

	<p>【区長会長】安藤 彰 【愛知県地域振興部 交通対策課 主幹】柴山 卓也 【愛知県海部建設事務所 維持管理課長】寺西 寿生</p> <p>新委員の方については、お手元に委嘱状をお渡ししているが、本日より平成25年3月31日までの任期で委員として、ご協力くださるようお願いする。</p>																		
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・議題に入る。 ・議題（1）平成23年度決算報告について、事務局から説明をお願いする。 																		
事務局 (横江)	<p>○資料2「平成23年度弥富市地域公共交通活性化協議会決算書」説明</p> <p>1. 平成23年度弥富市地域公共交通活性化協議会決算報告</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>歳入 弥富市負担金</td> <td style="text-align: right;">135,339,147 円</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td style="text-align: right;">49,715,000 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">185,054,774 円</td> </tr> <tr> <td>歳出 総務管理費、諸費</td> <td style="text-align: right;">49,727,387 円</td> </tr> <tr> <td>事業推進費、広報公聴費</td> <td style="text-align: right;">135,327,387 円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right;">185,054,774 円</td> </tr> </table> <p>2. 弥富市コミュニティバス 平成23年度 実証運行事業費</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>運行経費</td> <td style="text-align: right;">134,060,150 円</td> </tr> <tr> <td>運賃収入等</td> <td style="text-align: right;">4,977,293 円</td> </tr> <tr> <td>運行事業費</td> <td style="text-align: right;">129,082,857 円</td> </tr> </table>	歳入 弥富市負担金	135,339,147 円	国庫支出金	49,715,000 円	合計	185,054,774 円	歳出 総務管理費、諸費	49,727,387 円	事業推進費、広報公聴費	135,327,387 円	合計	185,054,774 円	運行経費	134,060,150 円	運賃収入等	4,977,293 円	運行事業費	129,082,857 円
歳入 弥富市負担金	135,339,147 円																		
国庫支出金	49,715,000 円																		
合計	185,054,774 円																		
歳出 総務管理費、諸費	49,727,387 円																		
事業推進費、広報公聴費	135,327,387 円																		
合計	185,054,774 円																		
運行経費	134,060,150 円																		
運賃収入等	4,977,293 円																		
運行事業費	129,082,857 円																		
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ今の決算について、監事を代表し、安藤委員より監査報告をしていただきたい。 																		
安藤委員 (監事)	<p>○監査報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監事より、監査結果について報告する。 ・弥富市地域公共交通活性化協議会事務局より提出された平成23年度弥富市地域公共交通活性化協議会決算書について、その関係書類および諸帳簿を監査した結果、遺漏なく適正に会計処理が実施されていたことをご報告する。 																		
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度決算報告に対して、意見、質問があれば出していただきたい。 ・意見がないようなので、ただ今報告いただいた決算報告を承認していただけるか。 																		
委員一同	異議なし。《承認》																		
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の決算報告は承認された。 ・次の議題に入る。 ・議題（2）平成24年度事業計画について、事務局より資料の説明をお願いする。 																		
事務局 (横江)	<p>○資料3「平成24年度弥富市地域公共交通活性化協議会事業計画案」説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この内容については、昨年度の最後の協議会でもご提示し、承認していただいているが、今年度は補助事業として「地域公共交通確保維持改善事業」を活用すること想定しているため、それに合わせて一部構成や表現を変更している。 																		

	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度事業としては、大きく5つの項目を挙げさせていただく。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 弥富市コミュニティバスの運行 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の検証結果を基に、4月1日より新ダイヤにて運行を開始している。 ・運行に係る補助として地域内フィーダー系統に対する「地域公共交通確保維持改善事業」を活用することを想定している。 ・この「地域公共交通確保維持改善事業」を活用するにあたっては、「生活交通ネットワーク計画」を国に提出し、認定していただく必要があるため、次の議題にて「生活交通ネットワーク計画」の内容は説明させていただく。 2. 生活交通ネットワーク計画策定調査 <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年4月1日からの本格運行後も含め、これまでの実証運行期間中に蓄積したデータを基に、改めて現行コミュニティバス路線の詳細な分析を行うとともに、実証運行開始時からの社会情勢や市民の生活交通ニーズの変化、周辺自治体や他都市の最新事例を踏まえつつ評価・検証し、効率的なコミュニティバスの運行の見直しによる生活交通ネットワーク計画策定のための基礎調査を行う。 ・具体的には、住民・企業アンケートや利用者OD調査の実施も含めた「公共交通の現状分析」、その結果を踏まえた「地域公共交通に関する課題の整理」及び「課題に対する対応策・改善策の検討」を実施する。 3. 利用促進策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年4月1日から導入しているシルバーパスや定期券、回数券の販売を継続するとともに、「お試し乗車券の配布」の実施や「市健康フェスティバル等のお祭りの場を利用した利用促進イベント」の実施検討をしている。 4. 生活交通ネットワーク計画の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・ここまでの検討結果を踏まえ、次年度に提出する生活交通ネットワーク計画を策定する。 5. 協議会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も4回開催する予定である。 ・3ページに、概ねのスケジュールを整理している。 <p>【参考】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行に関しては、「地域公共交通確保維持改善事業」の関係上、年度の考え方がこれまでと変わる。 ・青色で記載している部分はこれまでに活用してきた「地域公共交通活性化・再生総合事業」となっており、4月から翌年の3月までを1年度として事業を実施してきた。 ・緑色で記載している部分が平成23年10月からの新しい「地域公共交通確保維持改善事業」という制度で、10月から翌年の9月までを1年度とした補助事業が実施されている。 ・弥富市においては、「地域公共交通活性化・再生総合事業」を活用していたため、平成23年10月から翌年の3月までは経過措置として特別に補助を継続して頂いていたが、これからは、この新しい制度「地域公共交通確保維持改善事業」に移る必要がある。 ・新しい制度では、毎年「生活交通ネットワーク計画」という運行に関する3ヵ年計画を国に認定して頂く必要がある。 ・「地域公共交通確保維持改善事業」の平成24年度事業は昨年の10月より既に始まっており、弥富市においては「地域公共交通活性化・
--	--

	<p>再生総合事業」の経過措置を受けていた都合上、平成25年度「生活交通ネットワーク計画」と合わせて平成24年度の計画も提出することとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成24年度、25年度「生活交通ネットワーク計画」は平成21年度に策定した「弥富市地域公共交通総合連携計画」及びこれまでの実証運行の結果を基に策定するが、平成26年度計画からは、今年度の調査結果を反映した計画とする予定である。 平成24年度、25年度「生活交通ネットワーク計画」については次の議題にてご説明させて頂く。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> 平成 24 年度事業計画案に対して意見、質問があれば出していただきたい。
長崎委員 (バス協会)	<ul style="list-style-type: none"> 「2. 生活交通ネットワーク計画策定調査 (1)①地域概況の再整理」の中で、『道路交通の状況等』という表現があるが、具体的にどういうことを考えておられるのか。 「2. (1)②公共交通利用現況等整理及び分析」の中で、『実証運行期間中に蓄積された利用状況データ』は、OD が入っていないという理解でよろしいか。 「2. (2)①実施施策評価」の中で、『利用促進施策等の関連施策について評価・検証する』とある。3 項目目に利用促進策の実施があり、(1)は昨年4月からやっているということで、実績を見て評価できるが、(2)では『これから実施、もしくは実施の検討をする』という部分があり、どういうタイミングで実施評価を行うのか。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> 事務局、いかがだろうか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> 『道路交通の状況等』は、新たな道の完成等もある中で、昨年も一部路線を変更させていただいたこともある、狭い道等もある、それらを勘案しながら進めていこうと思っている。
長崎委員 (バス協会)	<ul style="list-style-type: none"> 道路ポイントの調査という感じなのか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> それが主になってくるかと思う。 OD調査は入っていないのかという利用状況の整理は、ODだけ特に分けている。全体的な利用状況という中で、OD調査は昨年も一部やっており、②の中に入れてもいいかとは思いますが、新たに今年はしっかりやっけていこうと、項目を立てさせていただいた。 (2)の利用促進策の実施は、「いつに」というのは難しい。サイクル&バスライドの駐輪所の設定等、実際に使ってみえる方の統計は取りにくいので、アンケート調査等で利用を調査できればと思っている。お試し乗車券、お祭り、利用促進イベント等は、終わった後の利用実績を見ないと難しいところがある。順次やらせていただく。 市広報、ホームページについては、年間の利用数等の実績の中からある程度出てくるかと思う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> よろしいか。
長崎委員	<ul style="list-style-type: none"> 第3回の協議会で12月頃に改善策等を協議する機会を設けているので、

(バス協会)	その前に何らかの施策を行うという流れかと思うが、そのタイミングは、どの辺で調査、分析をされてこの協議に入られるのか、参考に教えてほしい。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・例年だと12月というのが大きな節目になっている。 ・今年は、11月頃までに全体の結果を見るということがあるが、補助事業の部分が変わってきているので、この辺は慎重に行うかもしれない。時期については、目途としては11月いっぱいであるが、延びていく可能性もあるとご理解いただきたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の事業計画に載っている、「3. 利用促進策の実施 (2)利用促進策の実施」のメニューすべてを、今年度内に評価して報告していくことは、おそらく効果が出ていかない話だと思う。 ・この計画書をみると、「2. (2)①実施施策評価」というのは、今年度やったことの評価にこだわっているわけではなく、「2. (2)地域公共交通に関する課題に整理」にあるように、これまでも継続してやってきたことの効果がようやく今年度になって出てきているような部分もあるので、そこも踏まえて、これまでの評価という形で整理していく必要もあるだろうと思うが、事務局、いかがか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・そのような形で結構かと思う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・当然、サイクル&バスライドの駐輪場設置は昨年度から始めて、今年度のアンケート調査の中で尋ねていくということなので、継続的にやってきた効果を整理していくということをお願いする。 ・他によろしいか。 ・今年度はこの事業計画に沿って事務局で積極的に進めていただきたい。 ・次の議題に入る。議題 (3) 平成24・25年度生活交通ネットワーク計画について、事務局より説明をお願いする。
事務局 (横江)	<p>○資料4「平成24・25年度生活交通ネットワーク計画(案)」説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活交通ネットワーク計画には、様々な添付様式・資料があるが、ここでは、生活交通ネットワーク計画の計画部分のみを提示させて頂いている。 ・平成24年度と25年度の計画の内容はほぼ同様のものとなっているので、ここでは平成24年度生活交通ネットワーク計画を基に、概要について簡単に説明させていただく。 <p>0. 生活交通ネットワーク計画の名称</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「弥富市生活交通ネットワーク計画」とする。 <p>1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弥富市における公共交通の現状と、これまでの取組みの経緯を踏まえ、今後も市内バス運行の改善・充実、高齢者等の移動制約者の交通手段の確保という目的のため、地域公共交通確保維持事業により地域内フィーダー系統のコミュニティバスを運行し、市内の公共交通サービスを維持し、市民生活の交通手段を確保し続けていくことを必要としている。

	<p>2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果</p> <p>事業の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「総合的満足度の向上」として、平成23年度にも実施した住民アンケートにおける総合的満足度の評価を上回る結果を得ること。 ・「1便当たり乗車人員の向上」として、平成23年度における実績を上回る乗車人員を確保すること。 <p>事業の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足度及び1便当たり乗車人員数の向上により、コミュニティバスの運行を維持することが可能となり、高齢者等の通院や買い物等の市民の日常生活に必要な移動手段が確保され、高齢者等の外出が促進される。 ・市内鉄道との接続により、名古屋方面を始めとした通勤・通学や買い物に対応する公共交通ネットワークを構築することができ、クルマに過度に依存しない社会の構築にも繋がる。 <p>3. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の系統の概要や時刻、運行事業者の決定方法について記載している。 <p>4. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所定の様式に従い、別途整理している。 <p>5、6及び8～10番の項目については、弥富市は「該当なし」</p> <p>7. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所定の様式に従い、別途整理している。 <p>11. 協議会の開催状況と主な議論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度の協議会開催状況と、今回の協議会開催について記載している。 <p>12. 利用者等の意見の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議会構成員に住民又は利用者の代表が参加していることや、住民アンケートを実施した上で、改善策を検討協議していることを記載している。 <p>13. 協議会メンバーの構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本協議会の構成員を記載している。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただ今の説明について意見、質問があれば出していきたい。
安藤委員 (区長会)	<ul style="list-style-type: none"> ・1便当たりの乗車人員の向上という問題があるが、1便当たりの乗車人数の数は、簡単なのか。 ・例えばA～Jまで10のバス停があったとすると、Aで5人、Bで3人乗り、Cが駅で全部降りたとする、次Dの病院で2人乗り、Eで1人、Fで1人降り、Jまで空で走ったとする場合、平均乗車人数はどうやって出すのか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらは、平均という考え方はしていない。 ・単純に乗られた方の数を足した数字である。
安藤委員 (区長会)	<ul style="list-style-type: none"> ・総人数を何かで割ったのか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・総人数を便数で割っただけである。乗車人員÷総便数という考え方である。

	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の乗車密度という形をとろうとすると、先ほど委員のおっしゃったようになるかと思うが、そこまで厳密にはしていない。 ・先ほど出たOD調査というものがあるが、これは誰がどこで乗ってどこで降りたかという調査である。そういう調査は普段はやっていない。 ・乗降調査自体も今は出来ていない状況である。 ・あくまでもデータの的には全体で何人乗ったかという乗車実績しか通常はとっていない。
安藤委員 (区長会)	<ul style="list-style-type: none"> ・資料5の1ページ目に、乗車人員の推移（全ルート計）とあり、22、23、24年度と色別にあるが、24年度でいうと、4月 5,445、5月 5,464、これを便数で割ったのが2.6とか2とかという数字になるわけか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・それは全体になる。各ルートになると、裏面にあるように、北部ルート4月 1,749人に対して何便走っているよと。これは月で何人という形になっているが、1日の乗車人員を1日の便数で割り込んだ数×月の日数という数字になっている。
安藤委員 (区長会)	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどの、北部ルートで1便2.6人乗ったという実績があるが、そんなに少ないのか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のように、少ない。 ・それを何とかしようということで、先ほどのような方策をやるとか、毎年のルートの見直し等を行ないながら、少しでも乗車実績を上げたいが、なかなか報われていないのが現状である。
安藤委員 (区長会)	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどの、A～Jのバス停の乗降でいうと、1便で全部で10人となるが、これは10人という計算になるのか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・そうである。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの運賃が、弥富の場合、きんちゃんバスもそうであるが、定額である。 ・距離制であるならば、どれだけ乗ったかということで平均乗車密度という指標もあるが、それを出すのは面倒なところもある。 ・営業でやっている事業者さんはそういう指標を基準としてでやることもあるが、こういうコミュニティバスの場合、定額なので、1便当たり何人という出し方をされる自治体が結構ある。 ・実態として少ないという状況がある。他の自治体の事例をみると、多い所もあるが、これくらいの人数も結構見られる。 ・他によろしいか。 ・3ページ「11.協議会の開催状況と主な議論」で、本日の会議、「平成24年6月28日、平成24年度事業計画について承認(予定)」とあるが、先ほどの私の議事進行の中では、24年度の事業計画は前回、案が承認されており、今回議決はしなかったが、前回承認いただいているということによるしいか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらのプリントミスである。3月29日の段階で事業計画案は承認いただいている。

山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ここは修正いただくということをお願いする。 ・他によろしいか。 ・平成24・25年度生活交通ネットワーク計画を運輸支局のご指導のもとに、事務局の方で作り上げてこられたということである。まだ、この先、支局からの指導で多少変更もあるかと思われるが、そこは事務局に一任ということで、今日提出いただいた計画は、承認いただけるか。
委員一同	異議なし。《承認》
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24・25年度生活交通ネットワーク計画は承認された。 ・事務局の方で、支局と調整しながら進めていただきたい。 ・続いて、議題（4）利用者実態調査について、資料5の説明を事務局をお願いする。
事務局 (横江)	<p>○資料5「利用者実態調査について」説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査の概要 <ul style="list-style-type: none"> 乗車人員調査…ルート別、便別、バス停別に、毎日調査する OD調査…利用者それぞれの乗車・降車バス停を調査する 2週間調査実施予定 【参考】乗車人員の推移 <ul style="list-style-type: none"> ・実証運行開始から5月までの乗車人員の推移を整理した。 ・全ルートの乗車人員の合計の推移を見ると、実証運行を開始した平成22年度から経年的に利用者が増加している。 ・新ダイヤとなった今年の4月以降も、日曜日・祝日の運休や便数が減少したにも関わらず、乗車人員が増加していることが分かる。 ・具体的には、H24年では4月5,445人、5月5,464人で昨年4、5月と比べ、1か月当たりでは約190人の増加となっている。 ・裏面では、ルート別に整理する。現段階では、このように簡単な整理となっているが、今後の利用実態調査結果を踏まえ、曜日別やバス停別、便別等の詳細な分析を実施したいと考えている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度、乗車人員調査とOD調査を実施していくという報告があった。 ・OD調査は、起終点調査で、どこから乗ってどこで降りたかを調査するものである。 ・参考として、これまでの利用状況の推移を示していただいた。 ・これらの内容について意見、質問等はあるか。
丸山委員 (公募委員)	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的な乗車人員は、年度毎に増えているが、2ページ目のドル箱の南部ルートは去年若干減っているわけだが、この原因としてはいろいろあるとは思うが、ダイヤ改正の影響はあるのか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・減少はダイヤ改正の関係かという話だが、この辺は、数字として分析できるほどの下がり方ではないと思っている。もう一点考えられるのは、東部ルートの利用が非常に増えている。東部ルートについては、以前海南病院までというルート設定をしており、近鉄弥富駅やイオンタウンがなかった。そのため、逆に福祉センターから前ヶ須、平島あたりまで行かれる方が南部ルートから東部ルートへ移行したということもあるかと

	<p>思う。OD調査等によって、実際の乗車実態もつかめるかと思うので、再度細かい分析はしていきたいと思っている。</p>
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・他によろしいか。
西尾委員 (中部運輸局)	<ul style="list-style-type: none"> ・資料5の利用実態調査として、乗車人員調査とOD調査をやると理解すればいいのか。 ・資料3の事業計画の中にあった公共交通利用状況等整理及び分析の中の、利用実態調査とOD調査と同じものだという理解をすればよいか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・それで結構である。
西尾委員 (中部運輸局)	<ul style="list-style-type: none"> ・乗車人員調査とOD調査について、先ほど座長から、OD調査は起終点調査ということで、乗ったバス停と降りたバス停をきっちり調査して、それを分析することによって平均乗車密度などが算出できる基礎となる調査ということであった。一つ目の乗車人員調査の調査項目の内容について、乗車人員調査とOD調査を両方やらなければ分析できないようなデータがあるのか。2つの調査の必要性、役割等、どのような分析をしていくかということについて説明いただきたい。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・すべてのOD調査というものができれば一番いいと思う。 ・バス事業者等の手間の関係もあり、乗車のみ調査しかお願いできていないのが現状である。 ・前年度も、OD調査と乗降調査とを行う中で分析してきた。OD調査を行えば乗降調査は必要なくなるということは、前回の協議会でもご指摘いただいたことである。すべては無理であるが、多少なりともODの中での調査分析をするために、この項目、ODをプラスさせていただいたという形でご理解いただきたい。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしいか。 ・乗車人員調査はこれまでもずっと恒常的にとっているデータということか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・乗っていただいた場所だけではあるが、そこで何人乗り、その便に何人乗っていただいたかの調査はできている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど来、指標として提示している、1便当たり何人乗ったかという数字はここから出てくる。 ・OD調査をやることで、実際に距離当たりどれだけ乗ったかとか、そういったところも集計していくことはできる。必要のないバス停、必要のない区間も見えてくるので、そういったところで使っていただければよい。 ・具体的な分析に関しては、今後考えていくということである。
福田委員 (民生委員協議会)	<ul style="list-style-type: none"> ・資料3の「3. (2) 利用促進策の実施」は、実際はどのように、パンフレットとかで促進をPRされるのか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・全域に行き渡っているものは時刻表かと思っている。4月1日からのダイヤ改正で3月の段階で時刻表を配布させていただいた。その中に、サイク

	<p>ル&バスライドの駐車場の位置等も記載しているのでご覧いただけるかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お試し乗車券については、広報と一緒に前年度もつくらせていただいた。今年度も、そのような形でやらせていただきたいと思っている。 ・お祭り等の場を利用したイベントということでは、健康フェスタなど、実際にバスに乗っていただく、乗務員のユニフォームを子どもたちに着てもらおう等、イベントを通したPR、促進策をやらせていただいている。 ・市の広報のホームページ等でPRもさせていただいている。
<p>福田委員 (民生委員協議会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・芝桜のとき、駐車場が無くて大変だった。日祭日はバスが運休なので、そういうときに、そういう会場へ1時間に1本くらい行けるようなバスを臨時運転して、皆さんに乗っていただいて、帰りの乗車券は無料にするのはどうか。
<p>事務局 (伊藤)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・検討する余地はあるが、ダイヤ自体が登録してあるので、基本的には手続きが必要になってくる。 ・考えられるのは、健康フェスタなどのように、催事をしたところが臨時バスを走らせる、送迎バスのような形でやる方法がある。 ・今年の芝桜まつりについては、新聞、テレビ等のおかげで爆発的に人が来てしまったこともあり、対応が事前につかめなかった。 ・今後、バスの運行、事業者との調整も必要になってくるかと思う。
<p>福田委員 (民生委員協議会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場まで車で行ける人はいいが、そこから運んでもらうよりも、高齢者はそこへたどり着くまでが大変なので、やはり円を描くようにでもいいので、回っていただき、会場を目指しての運行を検討していただきたい。
<p>事務局 (伊藤)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい問題もあると思うが、調査させていただく。
<p>福田委員 (民生委員協議会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしく願います。
<p>丸山委員 (公募委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時刻表は配布されご家庭にあると思うが、たまにしか乗らないとどこに有るかかわからず、いざ乗ろうと思うときに探さないといけないので、できれば、時刻表をダウンロードできるような形にしていきたい。
<p>事務局 (伊藤)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ上で時刻表は載せているので、そちらでダウンロードしていただける。
<p>丸山委員 (公募委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それなら結構である。 ・ダウンロードできると、乗ったバス停から行先までの時間が大体わかるのでいい。携帯にもできるのか。
<p>事務局 (伊藤)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・可能である。
<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか難しい。 ・携帯で見られるのも便利だが、紙で全戸配布したものを各家庭で壁に貼ってもらえるとよい。ゴミの出し方を市の広報に挟むと、皆さんそれを

	<p>壁に貼ったりするが、バスもそうなりとよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの時刻表も壁に貼りましょうというPRもよいのではないか。 ・他にはよろしいか。 ・事務局でさらに詳細を詰めていって、調査を実施していただくということをお願いする。 ・次の議題、(5) 住民・企業アンケート調査について、事務局から説明をお願いする。
事務局 (横江)	<p>○資料6説明「住民・企業アンケート調査について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活交通ネットワーク計画検討のための基礎資料とするため、昨年度に引き続き「住民・企業アンケート」を実施する。 <p>住民アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月～8月頃に実施を予定 ・弥富市内に居住する15歳以上の住民2,000名を住民基本台帳より無作為抽出。 ・区長会や女性の会、福寿会の方々にもご協力して頂く。 <p>企業アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月～8月頃に実施を予定 ・臨海部に立地する企業127社を対象に実施する予定。 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの内容 <p>○資料6-1 (住民アンケート) 説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民アンケートは「資料6-1」となっており、「弥富市民の皆様へ」と書かれている案内文と、冊子になっているアンケート票の2つで構成される。 ・ここでは、アンケート票についてご説明する。 ・1ページ目の問1は回答者の属性を把握するための設問となっている。また、自動車運転免許証の保有状況等についても把握する。 ・2ページ目・3ページ目の問2は、市民の皆様の普段の交通行動について把握する内容となっている。 ・この設問は、市民の皆様の普段の交通行動の実態を改めて把握し、現在のきんちゃんバスの運行形態の評価や、今後の運行形態を検討する際の基礎資料となる。 ・4ページ目以降の設問については、昨年度に実施したアンケートと同様の内容となっており、きんちゃんバスの評価や今後のきんちゃんバスのあり方についての設問となっている。 <p>○資料6-2 (企業アンケート) 説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業アンケートは「資料6-2」となっており、「弥富市臨海部に立地する企業のみなさまへ」と書かれている案内文と、アンケート票の2つで構成される。 ・ここでは、アンケート票についてご説明する。 ・問1から問7では、企業の通勤実態や環境等に配慮した通勤促進に係る取組みの状況などを把握する設問となっている。 ・また、問8以降は、昨年度に実施したアンケートと同様の内容となっており、改善要望や利用意向等を把握するものとなっている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでも、住民アンケート、企業アンケートは継続的にやられている

	<p>が、今年度の調査票の案について、意見、質問等はあるか。</p>
<p>長崎委員 (バス協会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住民アンケート、問2の区分で、目的が4つに分けてあるが、『該当する目的で外出しない』という書き方と、この分け方が非常にわかりにくい感じがするが、皆さんは分かるか。どういう風に理解したらよいかという印象をもった。分かり易い工夫ができないものか。 ・4ページ、問5、1～14と並んでいるが、ルートに特化したものとそうでないものをごちゃごちゃになっている。ルートに属するものをまず一括してやり、その後に直接それに関係のないものを整理していただいた方が分かり易い。 ・7ページ、問12の3と4、区分の中身は分かるが、括弧書きの中身が、地域住民のところの話で『広告』と書かれているが、この現実性はあるのかという気がした。
<p>事務局 (伊藤)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2ページ、問2は、言わんとすることは上の4項目で理解いただけるかと思うが、非常に分かりにくいかという気はする。 ・例えば左から1、2、3、4、5というような形を付けさせていただいて、『1～5までの目的では外出しない』という言い方にもなるのかなと思う。文章の表し方については検討させていただきたい。 ・問5も、羅列したような形になっている。これについてもどういう方法が一番いいのかも一度検討させていただき、手直しをして最終的なアンケートにさせていただく。 ・問12は、いろいろなところで、バスを維持するために広告等、地元企業のほうがやられることがあるので、そういうことを意識して出させていただいた。少ない数ではあるが、市のバスにも広告が掲載されていることもある。地元の中で地元のバスを維持していこうという感覚のものである。分かりにくいというご指摘もあるので、表現等については検討させていただきたい。
<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしいか。 ・現在、協賛金、広告掲載をやっているものがあるということか。
<p>事務局 (伊藤)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、広告事業については、バス停が1事業者、バスについては2事業者が掲載するというので、契約していただいている。
<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを兼ねてPRもやっていくということで、最初のお願い文書の裏には、『地域の皆さんの支えが必要です』とか、回数券の値段等々が出ています。あまり資料が多くなってしまうと回答者も疲れてしまうが、こういったものの中に、『協賛金をいただいて広告を出しています』というような紹介の写真があると分かり易いかもしれない。事務局の中で考えていただきたい。 ・他によろしいか。
<p>西尾委員 (中部運輸局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問2、『4つの目的以外では外出しません』という書きぶりになってしまうと、これ以外でも外出してバスを使ってみえる方がもしお見えになると、その把握ができない。これ以外の目的で、具体的に把握するものがあるかどうかというのは検討する必要があるかと思うが、これ以外の目的で

	<p>外出して、どんな交通機関を使って、いつどこへ外出するという把握を、せっかくアンケートをするので、データとして取って置いた方が得かなと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問12、集計結果の把握まではできていないが、前回までも同じような質問をされていると思う。ここをみると、バスの運行を前提として、収入を上げたり利用者を増やしたり、協賛金をもらったり、市の負担はやむを得ないという書きぶりになっているが、もしかしたら中には、運行を減らして市の負担を減らすという方法もあるんじゃないか、もっと言えば、バスは要らないんじゃないのという考え方の方もお見えになるのかなと思った。あまりにもネガティブなことなので、個人的にも書いていただかない方がいいかとも思うが、そういう考えの有無の把握をするかどうか、はっきりした方がいいという感想である。 ・1ページ目、アンケートのお願いがあり、2ページ目に『きんちゃんバスを走らせるには皆さんの支えが必要です』という、ある意味市のメッセージが書いてあるので、『自動車を運転できない人のために公共交通は必要だ』ということをより強くメッセージとして謳っていただいた上で、市の負担はこうあるべきという設問をする等、その辺の整理をしていただかないと、自分の考えていることに○が打てないと思ってしまう人がいるのではと思った。ご検討いただきたい。
<p>事務局 (伊藤)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2ページの4つの項目は、主な項目ということで、どういった目的で使うのかを主に考え、この4つを上げさせていただいている。 ・その他がどういったものか想定できないところではある。 ・検討はさせていただくが、この2、3ページの設問がかなり時間のかかるものになっているので、これ以上、『その他』を入れて、自由意見のような形になってしまうと、その内容までもご指摘いただくことになると思うので、そこまでの項目を入れるかどうかについては、またこちらで検討させていただきたい。 ・問12のご指摘の点については、問11の方でそれに近い設問をさせていただいている。このきんちゃんバス自体が必要かどうかという、かなり踏み込んだところの設問をさせていただいているので、そちらでカバーさせていただきたい。 ・問12の前年の状況はどうかという話は、本日出した、公共交通活性化方策調査業務の48ページをご覧ください。下の段の表で前年の結果を出させていただいているので、そちらをご覧ください。
<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よろしいか。 ・前回と同じような聞き方をしていくという形になっている。 ・問11で、『多くの費用を負担します』とあるが、私も実際にそういう調査票を作って調査をしたことがあり、『市民1人当たりいくらかかっているんだぞ』ということをはっきり示したことがあるが、そういったことを考えられたことはあるか。
<p>長崎委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用される人と利用されない人と、調査は両方かけられるので、結果

(バス協会)	<p>は後で分けることができる。利用するに当たっての負担はどの程度まで許容できるのか、あるいは市民としてここまでは助成してあげたいとか、あるいはするべきじゃないかという考え方を問う質問がここにあってもいいのかという気がしたが、いかがか。</p>
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際的に、住民1人当たりの額、あるいは総額を載せることもひとつの方法として考えたことはある。 ・ 先ほどの決算書でも分かるとおり、非常に大きな金額であるので、あまりにもセンセーショナルというところもあり、総額は除かさせていただいている。 ・ 住民1人当たり、あるいは1便の乗車1人当たりいくらという計算もできるかと思う。そのぐらいの金額がかかっているということをお示しすることは、今回のアンケートでするかどうかは別として、今後必要になってくるかを感じる。 ・ どこまでの負担ができるかについては、毎年の調査では行っていないが、このコミュニティバスを運行する当初のアンケートで出させていただいた内容である。その結果、100円が最も多く、その次が200円程度というようなお答えだった。その中で、200円という今の運賃体系ができたということである。75歳以上の方が今は無料になっているが、それについても議論の余地があるかと思う。現段階では、200円まではご理解いただけるだろうという当初のアンケート結果の下に、設定させていただいており、今、再度やってもあまり大きな差は出ないのかなと感じている。必要であれば、その項目も考えさせていただきたい。
服部市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今ご意見をいただいている、市民1人当たりの負担額であるとか、あるいは歳入歳出のバランスがどういう状況にあるかということに対して、市民の皆様にもご理解いただくことは非常に大事なことであると思う。 ・ しかしながら、皆様のお知恵をお借りしながら、どのようにして利用促進をしていくか、あるいは改善をしていくかということに対して、もっともっと徹底的にやる事の方が、今は大事かなと思っている。 ・ この利用促進のあり方について、今までもルートの変更、日祭日運休、あるいは減便等、様々な形で努力してきたわけであるが、こういった努力をもうしばらくやっていって、市民の方に更なる情報を開示していくということで、今のところ考えていきたいと思っている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今の市長のお考えも踏まえ、最終的な調査票を作成していただきたい。 ・ よろしいか。この調査票の作成、設計は事務局一任で進めていただくということでよろしく願います。 ・ 議題(6)お試し乗車券について、事務局から説明をお願いします。
事務局 (横江)	<p>○資料7「お試し乗車券について」説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度の1月・2月に実施し、利用者増の効果が認められた無料お試し乗車券について、新たな利用者を掘り起すことを主な目的とし、きんちゃんバスに乗ったことの無い人が、一度の利用経験を通じて、きんちゃんバスを持続的に利用するきっかけとなることを期待して今年度も配布

	<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布対象は昨年度と同様に市内全世帯とし、市広報に同封して配布することを考えている。 ・配布時期については、8月・9月頃を予定している。今回は、8月を含めて実施し、夏休み期間中のこどもや親子でのおでかけにバス利用をしていただけたらと考えている。 ・お試し無料乗車券は、2枚目についているものがサンプルである。 ・啓発を目的とした文言を記載するとともに、無料お試し乗車券の裏面には簡単なアンケートを記載し、回答を無料乗車の利用条件としている。 ・また、昨年度協議会で頂いた意見も踏まえ、無料お試し乗車券の利用回数やクルマの運転免許の保有状況についての設問を追加しており、この回収した無料お試し乗車券のアンケート結果を集計し、初めて利用した人がどの程度いたのかを把握し、乗車人員の推移と併せて検証することで、無料お試し乗車券の効果を検証することを考えている。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・お試し乗車券は去年もやられて、これを使って利用した方が、去年の2月あたりは非常に多かったということである。 ・その後、今年度に入ってから、改変で便数を減らしたにも関わらず利用者は増えた。 ・ひょっとしたら、このきんちゃんバスのお試し乗車券の効果だったかもしれない。今まで継続的に取り組んできたPRの効果もあると思うが、じわじわと利用者が増えてきている。 ・無料お試しで体験してみるということは、その後の行動を決めていくのに非常に役に立つものなので、いいことだと思う。 ・これに対して何か意見はあるか。
安藤委員 (区長会)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が多かったということであるが、何パーセントかお取りになっているのか。 ・バスの見本、ミスプリントだと思うが、裏表がおかしいので直していただかないとはがきにならない。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・無料バス乗車券は、お使いになられた方が、1,327名である。 ・先ほど座長からもお話があったように、2月が特に前年に比べ、5,159から5,952と、大幅な乗車アップが見られている。 ・パーセントという形では出していないが、かなりの伸び率が見られたかと思う。 ・印刷のご指摘の件は、両面印刷の方向を間違えた。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・他によろしいか。 ・ぜひ、これは今年もやっていただくということで、結果が楽しみである。 ・(7) その他とあるが、事務局で何かあるか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・特にない。
寺西委員 (海部建設事務所)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年も道路工事の関係で、若干バスの運行にご迷惑をかけたところがある。芝井南あたりで去年はやっている。 ・今年は、11月ごろ、間崎公園、富島神社との間とか、十四山東部小学校のあたり、弥富の駅の北口側で、補修工事をする予定がある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者の方では、もう少し詳細な事前協議を今やっている最中で、弥富市さんの方も明日あたりに入ると聞いている。業者が決まり、もう少し細かな道路が決まったら、その都度、関係機関とは調整をさせていただくが、年内の完了を目指して対応していきたいと思っているので、よろしく願います。
<p>柴山委員 (交通対策課)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今日、お配りさせていただいたチラシだが、PRをさせていただきたい。 ・愛知県では、平成20年度からエコモビリティライフという運動をしている。エコは環境、モビリティは移動という意味である。それにライフ(生活)という言葉をつけて、環境にやさしい交通行動をしましょうという運動である。 ・クルマと公共交通、自転車等を賢く使い分けましょうということで、いろんな啓発活動をさせていただいている。 ・この活動は、今年で5年目に入るということで、いろいろなエコモビリティライフの活動をしていただいている団体を表彰させていただき、表彰制度を設けさせていただくことになった。 ・例えばコミュニティバスについて、住民の方々が、自らもって乗ろうということで、会を作ってもらって、住民ならではの活動をしていただいているところもある。あるいは、企業の中で、通勤に取り組もうということでやっていただいているところもある。 ・そういうところに表彰をさせていただいて、さらにそういう活動を広げていきたいというものである。 ・今、募集中で、11月にはエコモビリティライフ県民の集いという催しを開催し、知事から表彰状をお渡しさせていただくという予定にしている。もし、該当する団体等があればご応募いただければと思う。
<p>山崎議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県さんから配られていたチラシの説明であった。 ・この弥富のバスは、単品ではなくて、複数のセットメニューでやるとおもしろい、こういうものは表彰されやすいと思う。 ・自転車の駐輪所を整備してサイクル&バスライドをやっているが、あれをもっと華々しくやって、利用者がたくさんいたりすると、これも表彰対象になってくるのではと思う。まだ実態が把握できていない。 ・他にはよろしいか。 ・以上で、本日の議題はすべて終了した。 ・これまでの議題も含め、何か意見はあるか。
<p>服部市長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・長時間に亘り、ご協議いただき感謝する。 ・平成24年度のスタートとして、平成23年度の決算報告についても数字を見ていただいた。歳入、歳出のバランスが非常に大きく崩れているということはご理解いただいている。 ・4月1日から、日祭日の休止、夜等の減便という形の中で、予算的には3,000万円減で、平成24年度の数字が出てくるかと思っている。 ・平成23年度までは国の補助金も大変な額をいただいているが、平成24年度は極めて厳しいという状況である。我々としては改善すべきところは

	<p>改善していきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度の事業計画を今日皆様にご案内させていただきました。この事業計画を一つ一つ、確実に実施していくこと、これが非常に重要であろうと思っている。 ・また、地域住民の皆様から様々な形でアンケートをいただきながら、事業計画の中にそれを活かしていくということも今後やっていきたいと思っている。 ・お試し乗車券も配布しながら、市民の皆様の足として、コミュニティバスをさらにご利用していただけるようお願いをしていきたいと思っている。 ・福田委員から、芝桜まつりのときにということでお話をいただいた。今年、来年の芝桜まつりの日程を決めたので、それに合わせ再度事務局で、市民の足として利用出来るような形を考えていきたいと思っている。貴重なご意見をいただき感謝する。 ・いずれにせよ、24年度がスタートし、今までの課題をクリアしながら、また新たな課題も修正しながら、利用していただきたいと思っている。 ・各委員の今後のご尽力、ご協力もお願いしたいと思う。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局から事務連絡はあるか。
事務局 (伊藤)	<ul style="list-style-type: none"> ・次回、第2回の協議会は10月頃に開催を予定している。日程は決まり次第、皆様に連絡するので、よろしく願います。
山崎議長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは以上をもって、平成24年度 第1回弥富市地域公共交通活性化協議会を閉会する。今後とも、皆様方にはご協力いただきたい。
	以上